

＜西部地方会＞ 第24回信徒修養会

主題：約束の地を望みながら



去る3月19日(火)～20日(水)、兵庫県洲本市にあるアート・リゾート淡路にて、「第24回西部地方会信徒修養会」(伝道部・教育部共催)が開催された。講師は、西部地方会と姉妹関係にあるウルサン老会の川上第一教会の朴永東牧師であった。朴牧師は、「約束の地を望みながら」という主題で、力強い励ましと希望のメッセージを語った。

また開会礼拝では、「私があなたに与えた土地に行きなさい」(創世記12:1-4)という題で、「離れることを恐れてはならない」と力強く語った。

引き続き、第1講義では、「正しい人になりましょう。」(マルコ10:42-45)という題で、キリスト者の人格を強調しながら、「イエス様が弟子たちと人々に仕えたように、私たちも仕えるものにならないといけない」ことを。第2講義では、「イエス様を見上げましょう。」(ヘブライ12:1-4)という題で、「この世の世界を見上げるのではなく、ただ、イエス様だけを見上げることによって、天の国を見ることが出来る」と語り、第三の講義は、「正しい信徒になりましょう。」(ヘブライ11:5-6)という題で、「正しい信徒になるためには、まず、イエス様の生き方を模範として、私たちが歩むべきである」ことを強調した。

さらに閉会礼拝では、「約束の地を望みましょう。」(第IIペトロ3:8-13)という題で、「神様も忍耐を持って、私たちを待ってくださったように、私たちも忍耐を持って、約束の地を望みながら、走りましょう」と語った。一泊二日という短い時間ではあったが、神様の恵みと祝福が溢れる修養会となった。(報告：韓澤柱)

＜関西地方会＞ 女性連合会

第60回 定期総会 開催

2013年3月28日(木)、大阪北部教会において、関西地方教会女性連合会第60回定期大会が(11教会、代議員51名の出席)開催された。

第1部開会礼拝では、張淑子会計の司会のもと讃美歌と祈祷後、趙永哲牧師(大阪北部教会)より「私たちが流すべき涙」(ルカ23:28～29)の題で説教があった。その後、趙牧師の司式で聖餐式が執り行われた。一同は献金を捧げ、李惠慶青年部長の感謝の祈祷後、頌栄5番を讃美し、趙牧師の祝福をもって開会礼拝を終えた。

第2部の議事では、崔金順会長を議長とし3分の2以上の出席を確認し、開会宣言をした。新代議員と来賓を紹介し拍手をもって歓迎した後、2012年度決算報告が承認された。

昼は、昨年11月始めに行った3泊4日の韓国基督教聖地巡礼研修会のDVDを鑑賞した。



第3部の案件討議では、委員改選があり、新旧委員交代があった。そして、2013年度活動方針として、「世界祈祷日・みことばと讃美のフェスティバル・1泊研修会」を決めた後、予算案審議がなされ承認された。

第4部閉会礼拝では金英子新会長の司会で讃美(146番)と祈祷後、朴栄子牧師(豊中第一復興教会)より「成し遂げられた」(ヨハネ19:20-30)の題で説教と祈祷後、頌栄6番を讃美し、朴牧師の祝福をもって閉会礼拝を終えて、金英子新会長が閉会宣言をした。

(報告：孫夏景)

在日コリアン文化の創造と多文化共生社会を目指して、在日本韓国YMCAは皆様と共に歩みます。



東京◆ホテル：東京で一番安く便利な宿泊研修施設。フロントは日・韓・英語に対応、24時間営業。10名様～200名様の会議及び宿泊研修(50名)も可能。
 ・スペースYホール：200席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに対応。
 ・韓国文化教室【チャンゴ・カヤグム・舞踊】・韓国語講座・各種こどもクラス
 ・YMCA東京日本語学校【3ヶ月～2年、短期研修】

関西◆にほんご教室《新規開講・募集中》韓国民俗芸術科【舞踊・チャンゴ】

在日本韓国YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/>

東京韓国YMCAアジア青少年センター ☎ 101-0064
 関西韓国YMCAアジア青少年センター ☎ 537-0025

*会員及び教職者割引有。詳しくはお問い合わせください。

東京都千代田区猿樂町2-5-5 ☎ 03-3233-0611
 大阪市東成区中道3-14-15 ☎ 06-6981-0782

税込	平日	休・休前日
シングル	¥6,500	¥6,000
ダブル	¥10,500	¥9,700
トリプル	¥13,500	¥12,500

朝食・コーヒー¥200(宿泊者価格)

KCCJ の信条・信仰告白の 自覚的継承を求めて (4) 朴憲郁牧師 (東京神学大学)



3. 「信条」 解題

1) 前身としての在日本朝鮮基督教教会の成立と「信条」

1910年の韓日併合前から、母国から東京に留学に来ていた学生中心に1906年11月に東京朝鮮基督教青年会(現在の在日本韓国基督教青年会[YMCA]の前身)が設立され、聖書研究や日曜日礼拝がもたれた。それが定期的にもたれて定着し、同じ場所でYMCA活動とは別に、1908年に東京教会が設立された。

長老派と監理派(メソジスト派)を問わず長老や信徒たちは合同で礼拝を捧げたが、これが現在の在日大韓基督教教会史の端緒となった。その翌年に、韓国初代の長老派教会牧師7人の内、韓錫晋牧師が最初の3ヶ月短期宣教師として東京教会に派遣された。

1912年に、母国の長老教会と監理教会とが合同の「長監イエス教連合宣教会」を組織して、3年ごとに交替で牧師を派遣して牧会と伝道の負うこととした。宣教会は、厳しい在日生活を送る同胞への伝道は教派別にする必要がないとの共通認識のもとに、合同の宣教活動を推進した。次第に渡日同胞の数は増え、それに伴って心と魂の拠り所としての教会や伝道所も樺太から九州まで全国各地に設けられた。両教派の内、人的・財政的には、長老教会がより大きな支援をした。

1927年からはカナダ長老教会が在日同胞への宣教に加わってL.L.Young(榮在馨)宣教師一行を神戸に派遣し、それ以来多大な財政支援をした。

1933年末に在日同胞は45万人を超えていた。こうした背景と繋がりの中から、連合宣教会は独自の教団組織を結成することを目指した。そして遂に、1934年に在日本朝鮮基督教教会が創立され、母国の諸教団の信条・憲法を参考にしつつ独自の信条・憲法が制定された。結成に向けてすでに1932年末に、在日本朝鮮基督教憲法起草委員会は独自の信条・憲法の暫定的創案を試みて、四つの信条を併記した

(1. 朝鮮イエス教長老会信条、2. 朝鮮監理会教理的宣言、3. 使徒信条、4. ウェストミンスター小要理問答)。その第4項目からは長老派色が滲み出ている。しかし、この併用提案は好まれず、結局、L.L.Youngの主導のもとで独自の信条と憲法が作成された。

1934年2月21日大阪東部教会での創立時の初代会長はL.L.Youngであった。

信条本文の前の〈緒言〉には、「聖經要理問答と使徒信条を本教会の法則とみなして、信条を採用することとする」と記されている。

(次号に続きます。総会のホームページでは、全文をご覧になれます。)

創世記連続講解 (19)

尹宗銀 牧師

(横浜教会名誉牧師)



創世記 36 章

創世記 36 章の総主題は、『エサウの子孫の系図』である。

- ① 1-8 節：エサウの三人妻たちの子供たちとその移住。
- ② 9-11 節：エサウの子孫たちの首長たち。
- ③ 12-30 節：セイル〔Seir〕地方の原住民たち。
- ④ 31-39 節：エドム地方の王の系統。
- ⑤ 40-43 節：エサウの子孫の区域と首長たち。

本章は、エサウとその子孫たちの系図の記録である。創世記の中に、アダム以下9人の系図〔Generations〕が記録されている。①アダム(5:1)、②カイン(4:16-24)、③アブラハムの直系イサク系図が始まる前に支系イシュマエル系図が整理したように(25:12-18)、ここにもメシアの祖先として選ばれるヤコブの系図が始まる前に、支系エサウの系図が整理されている。

これまでヤコブの生活に対する記事は、イサクの生存中であったゆえにイサクの伝記の中に包含されることになった。約束の人ヤコブの子孫たちが旅人の群として過ごす間、エサウの子孫たちは各地に分散しながら、各自の基業を得ながら地位と所有をもって富めるようになった。これは預言の成就である。8節は、個人エサウの系図であるが、9節以下は政治上のエサウの系図である。前者はカナンで、後者はセイル〔Seir〕であった事柄である。エサウの子孫たちはカナンで生まれて外地へ出で行ったが、ヤコブの子孫たちは外地で生まれて約束の地カナンに入ってきた。約束の地に住む者と非約束の地に住む者の違いがここにある。これが神の新陳代謝の交流の摂理である。創世記の中で霊肉の交流は、歴史を通して今日まで複雑で流れているが、今日の教会の中にも霊に属する者と肉に属する者とが縄のようになわれて流れている。しかし、麦と毒麦は刈り入れの時は選ばれた者と捨てられる者とがはっきりと判別される。

第 52 回 定期総会 日程案内

主題：聖霊によって証しする教会(ローマ9:1)

日程：2013年10月14日(月)11:00～

16日(水)15:00

会場：在日大韓基督教教会 名古屋教会

豊かな味、豊かな心。



妻家房
SAIKABO

代表取締役 呉永錫 (東京希望キリスト教会 長老)

四谷本店：東京都新宿区四谷3-10-25 Tel. 03-3354-0100

＜西南地方会＞ 女性連合会 第59回 定期大会開催



去る4月20日(土)、西南地方会女性連合会第59回定期大会が小倉教会にて開催された。6教会から代議員22名(欠席3名)、傍聴者4名、牧師3名、全国連合会会長と総務、計32名が参加した。金幸子会長司会による開会礼拝では、女性部長権寧国牧師(福岡)が民数記14章1-10節をもって説教した。続いて会長が開会辞を述べ、全国教会女性連合会の金貞姫会長が来賓祝辞をした。

引き続き、会順に従い、前会録承認し、委員会、各部、各教会、会計報告がなされた。記念撮影後、2部に予定していた学習会を金必順牧師(全国女性会総務、堺教会)が「全国女性会憲法改定に向けて」と題して公演をした。

午後からは役員改選をし、2期目となる金幸子会長(福岡中央)の下、決意を新たに59回期のスタートを切った。各役員は以下の通りである。副会長:韓榮蘭(福岡)、書記:崔聖実(小倉)、副書記:尹成嬉(小倉)、会計:姜富子(折尾)、副会計:李亜紀子(宇部)、宣教部長:李好子(小倉)、教育部長:朴賢淑(福岡)、青年部長:辛貞仙(福岡)、社会部長:任永淑(折尾)、財政部長:洪恩淑(下関)、規約部長:秋順愛(福岡中央)、会計監査:洪秀任(福岡中央)・李貞勲(小倉)。

閉会礼拝では、朱文洪牧師(小倉)が、「苦しみ悶えて」(ルカ22:39-46)の題で説教した。(報告:崔聖実)

2013年全国教役者研修会案内

금년도 교역자 연수회는 본국 교회의 역사를 돌아보며 잘 배워서 일본 선교의 길을 모색하는 기회가 되길 바라며 개최됩니다. 자세한 것은 공문을 참고하시고 많은 교역자들의 참가를 바랍니다. 자립교회에서는 교역자 부부의 참가비를 보조해 주시기 바라고 미자립 교회나 전도소는 각 지방회에서 보조 바랍니다.

- ◆日時: 2013年6月17日(月)～19日(水)
- ◆場所: 한국 용인 (韓国龍仁 韓和リゾート)
(京畿道龍仁市處仁區南四面鳳舞里 257-1)
- ◆主題: 한국 기독교 역사탐방 (韓国基督教会歴史探訪)
- ◆参加費: 1名15,000円(夫婦同伴大歓迎)
- ◆交通費: 원칙 교회 부담 (原則として教会・自己負担)

在日大韓基督教会総会長 金武士 / 教育委員長 李聖雨 / 総幹事 洪性完

＜中部地方会＞ 女性連合会 1日研修会 開催

中部地方会の教会女性連合会(会長:金甲粉勸士・豊橋教会)の1日研修会が、去る2月28日午前10時30分から、午後3時まで、名古屋教会で開催された。中部地方会各教会の女性会員と教役者38名が参席した。

同研修会は、青年部長である鄭仁仙執事(岐阜教会)の司会によってはじまった。講師は、鈴木崇巨牧師(聖隷クリストファー大学教授・日本キリスト教団牧師)であった。鈴木牧師は、「聖霊について」と題して、霊的にとても有益であり、恵み豊かな講演を行った。

さらに、午後には李大宗長老(名古屋教会)により、健康な生活のための「健康セミナー」が分かりやすい解説で有益に行われた。この1日研修会を通して、参加者たちは霊と肉がバランス良く健康的に満たされていた。

(報告:金仁果)



2013年全国長老研修会開催案内

全国長老会研修会を下記の要領で開催いたします。

本年度は長老の単独開催になっています。

夫婦同伴を歓迎します。会場も新大阪駅から近くとても便利です。

総会を目前にして、意義ある研修会になりますよう期待しています。

日時: 2013年7月14日(主) 17時～15日15時(月・祝)

場所: ホテル・クライトン新大阪

主題: 「総会に連なる一体感の回復」

対象: 長老(夫婦同伴)、全国女性会役員

参加費: 1名12,000円 夫婦同伴の場合21,000円

1日出席 5,000円(1食含む)

交通費: 原則として自己負担 ・申込締切: 2013年5月31日

連絡先: 書記 俞正根 (Tel 075-822-1666, Fax 075-822-1676)

携帯 090-5676-0751

在日大韓基督教会全国長老会 会長 林英宰

東日本大震災 KCCJ 募金口座案内

- ・銀行: 三菱 UFJ 銀行
- ・支店: 高田馬場支店
- ・種類: 普通預金
- ・口座: 053-1615275
- ・名義: 在日大韓基督教会総会



在日大韓基督教会
宣教 100～110 周年標語
감사의 백년, 소망의 백년
感謝の百年、希望の百年
(데살로니가전서 5:18)

2013年5月1日(水) 第718号

発行所 **福音新聞社** (1部100円)
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
電話 03 (3202) 5398
発行人/金 武士・編集人/洪 性完
fukuinshinbun@kccj.jp (福音新聞)
info@kccj.jp (総会事務局)

＜関西地方会＞ 大阪築港教会 朴時永牧師 委任式・献堂式



去る、2月10日午後4時から大阪築港教会において、金武士牧師(臨時堂会長)の司会により、朴時永牧師委任式と献堂式が執り行われた。礼拝では、姜斗連長老(大阪教会)が祈禱を、崔春子牧師(高槻伝道所)が説教した。その後、趙永哲牧師(関西地方会会長)の司式のもと、書記の朴栄子牧師からの紹介後、誓約が交わされた。勸勉は、金鐘賢牧師(浪速教会)が、祝辞は朴牧師の恩師である重富勝己牧師(日本フリースピリット教団阪南教会)がした。

続いて、朴時永牧師の司式により、献堂式を執り行った。建築委員長である李清一牧師から新会堂完成までの経過報告と鍵奉献が執り行われた。献堂式にあたり関西地方会を代表して朴龍洙牧師(京都教会)が祝辞を述べた。その後、感謝状と感謝牌が式田完(ダイシンインテリア)、井手尾照志(生賀建設)、朴小善師母、李清一牧師に贈呈された。李智栄子執事からの祝電紹介に続き、参列者全員で頌栄1番を讃美した後、朴珍烈名誉牧師(平野教会)の祝禱をもって式典を無事に終えた。

二部は女性会が心を尽くして準備した食事を囲みながら参列者と共に喜びを分かち合った。このような素晴らしい式典を執り行われたことを神様とそれぞれ担当した方々、並びに参列して下さった多くの方々に心から感謝の意を表すと共に、大阪築港教会の今後の発展のために信徒一同が全力を尽くしていくことを新たにする時でもあった。

朴時永牧師は、大阪基督教学院と長老会神学大学教会専門大学院で神学を学び、その後は東京教会と大阪教会で副牧師を経て、大阪築港教会第4代担任牧師として委任された。家族には具滋妍師母がいる。(報告：朴時永)

＜関東地方会＞ 大宮教会 金ハンナ牧師 委任式

先日3月17日(主日)午後4時30分から大宮教会にて金ハンナ牧師の委任式が挙行された。先ず地方会書記である張慶泰牧師の導きで礼拝が始まった。地方会長韓聖炫牧師は「弟子の道」(ルカ福音書9:57-10:2)という題で説教した。

続いて工藤正太牧師(丸子キリスト集会)は勸勉及び祝辞を述べた。コリント第二2:17に、「わたしたちは、多くに人々のように神の言葉を売り物にせず、誠実に、また神に属する者として、神の御前でキリストに結ばれて語っています」を取上げ、ここに牧師の第一の役割があると言った。

「しかし、真の神の言、真のキリストの言は私たち人間の心を決してそのまま沸き立たせるものではありません。だから人間古き自我を刺し殺すものであるからこそ毎日キリストの中で言で突かれ、自分じゃなく神が働くまま自分を委ねていくのが本来の牧会であります。牧師が責任を負っていくのではなく、すべてを丸投げしていく、それこそが牧師の大切な役割であります。」と勧めた。



聖徒から花束を受けた金牧師は答辞を通して「大宮教会は創立30年となるが、一時は50人以上聖徒が集まった教会だった。しかし現在は、10人以下の小さな群れが残っている」と話しながら、「本当に在日大韓基督教会総会全体の関心と祈りの支えを求める」との感謝の答辞を述べた。

金牧師は2004年に本総会で牧師按手を受け、ハンサラン教会(伝道師)、横須賀教会(担任牧師)、東京教会(副牧師)で奉仕をした。家族はご主人と娘、息子がいる。

(報告：金漢羅)